



読字故原田 親

No. 733

2014/5/5



発行所
日本中国友好協会
〒113-0033 東京都文京区千石
西神田1-4-1 東17ビル3階

日中友好協会
岡山支部
〒703-8256
岡山市東区3-8-30 514
TEL:086(2)72-3010
郵便番号119
01250-01-3835

日中友好協会
倉敷支部
〒713-8011
倉敷市連島中央1-8-4
(宮地方)
TEL:FA30861446-2711

日中友好協会岡山支部ホームページ
<http://rzhong.biz/>
メールアドレス
rzhong86@hotmail.co.jp



中国帰国者問題写真展

日中友好協会岡山支部は、4月23日から25日まで岡山市役所1階ロビーで、福祉援護課の協力のもと7回目の「中国帰国者問題写真展」を開催しました。

展示内容は、大地の青春―元満蒙開拓青少年義勇軍・杉山勝己さんの生きてきた道―を中心に、高杉久治さんの語り部活動、中国帰国者

との文化交流、日本語教室、中国帰国者の「配偶者」支援及び今回新たに次の2つを加えました。それは、映画「望郷の鐘」満蒙開拓団の落日」と次世代に平和の大切さを発信する「満蒙開拓平和祈念館を訪れてです」。

3日間で、岡山市職員・議員、市役所に用事で来た人および日本語教室関係者など約200人が参観しました。



取材をうける高杉さん

取材は2件(山陽新聞・赤旗)ありました。山陽新聞からは、2005年の「落葉帰根」の連載を担当した瀬尾・中浜記者が訪れ、熱心に取材してくれました。語り部活動の取材を受けた高杉さんは「国策に翻弄された残留孤児の存在や平和の大切さを知ってもらいたい」と話しています。(山陽新聞・4月24日付)

なお、詳細については次号で紹介します。

ここでは、日本語教室竹内ヒロ子さんの感想を紹介いたします。また、日本語教室倉敷の会の山縣さん、3日間連続で受付をした井上愛子さんの「望郷の鐘」(作・和田登)の感想を2面で紹介いたします。

写真展を見て

竹内ヒロ子

私は、初日にお手伝いをしてながら写真展を拝見しました。

展示内容は、元満蒙開拓青少年義勇軍の杉山勝己さんの生きてきた道「中国帰国者の日本語教室の現状」中国残留孤児の配偶者支援の取り組み「高杉久治さんの語り部活動」などでした。

杉山勝己さんの写真展示では、杉山さんは15歳の時に終戦を迎え、異国の地に取り残されることになったそうです。それを助けてくれたのが、3歳の中国人の男の子とそのご両親でした(後の養父母と義弟になられた人たち)。杉山さんは、その男の子と普段からよく遊んであげていたそうです。

岡山県内の行政機関へ書いて

た手紙の写真が展示されていました。そこに書かれた日本語は、日本語としては少し意味がわかりにくいものでした。それは、中国での生活が長くなり、日本語をうまく使えなくなっていたためです。日本へ帰国するまでにいかに長い時間がかかったかを物語っています。

日本語教室の写真展示では、他の教室の様子を見られるのが大変興味深かったです。他の教室での団体形式の様子が紹介されていました。長岡教室夜の部はマンツーマン形式を取っています。各教室でいろいろな工夫がされてあり、参考になりました。

23日には山陽新聞の取材もありました。翌日に山陽新聞「岡山市民版」の紙面で、この写真展について紹介されました(できれば、広く知ってもらいために全県版のページで紹介して欲しかったというのが個人的な意見ですが)。

普段の生活の中で、中国残留孤児の人たちについて知る機会が少ないです。ましてや、こうしてご本人たちの体験談に接する機会はずっと少ない。活字の情報だけでは知ることのできない事実を知る貴重な機会だと思いました。

日中友好協会倉敷支部 第13回中国問題文化講演会



た。毛沢東時代から鄧小平時代への転換、その後の改革・開放政策や天安門事件なども話されました。

1時間半の講演のあと、質疑が相次ぎました。「文化大革命」を中国はどう総括しているのか「中国の公害を見ていると社会主義とは思えない」など率直な質問がだされ、そのひとつひとつに丁寧に答えておられました。最後に、講師から「文化大革命の時に屈せずにはがんばった日中友好協会」への期待の声

栗本泰治

新中国草創期の映画上映会

ニエアル (原題『聶耳』)

5月31日(土) 午前9時30分～12時

岡山市立高島公民館

参加費300円

中国帰国者問題写真展を見て

よみ 黄泉の国にあるあなたへ

好久不見！」鴨井さん、お元気ですかというコトバが出そうな感じでした。

あなたが旅立つて、まもなく100日になります。5月2日には、Yさん、お孫さんと一緒にお墓参りに行くことになっています。

このたび 中国帰国者問題写真展」が岡山市役所で開催されました。この 日本語教室の現状」コーナーに 倉敷教室」の写真と合わせてあなたの写真と半生を紹介し、あなたをしのびました。

この写真展には、中国残留孤児」の国家賠償訴訟で、共に闘った杉山さん、高見さん、高杉さんも紹介されています。あなたもその不合理に憤っていた 配偶者問題」について、陳情に行った高見さんが、安倍総理大臣と握手している写真も展示されていました。

いま日中関係は、よくありませんが、帰国者が帰ってきてよかったと思える母国にするために、非力ながら加油！します。先日うれいニュースがありました。あなたも

心配していたY夫君が、講師の支援もあつて悪戦苦闘の末、7回目に原付免許を取得しました。真好了！再見！

望郷の鐘を読んで
残留孤児の父」と言われた山本慈昭さんは 民間人でありながら生涯を残留孤児の肉親捜しに献身的な愛でさえた。」と書いてあります。

私は、慈昭さんは僧侶であり、佛道を全うなさった生き佛さまだと信じます。この世に救済のために生まれてこられた類稀な方です。霊界でも其の儘御導き下さいます様御祈りいたします。



山縣武次郎



井上愛子 合掌



写真展の受付をする井上愛子さん

日中岡山太極拳講習会 82期開講式を迎えて

見学者が2名来られ、教室はいつもより少し緊張した雰囲気が始まりました。八段錦の準備体操から始まり、弓歩、退歩といったもどおり簡化を表現します。

開講式での説明が終わり、クラス毎に体を動かし始めると、すぐ気持ちもほぐれあちこちから笑い声のいつもの教室になりました。

まっさらの入門者がそろそろ足を動かす仕草を見て、私もかつてはそうだったんだろうと微笑ましく思いました。

基本に忠実にきっちりおさえ、素直な太極拳に、練習を終えて見学者の皆さんも腰によさそうだな、気持ちよかったです」など感想を言ってくれた。

ぜひ続けていって、太極拳の

ニホン人は、なぜ、ニホン語をおしえることができるのか？

77

竹内和夫

4月25日号のニュース「おかやま」No.732のニホン人は……77に、大きな印刷まちがいがありましたので、ぜひ訂正してください。

それは一番下の行の、「ニホン語はむずかしいからVとC V……」の部分です。ずっとニホン語は、世界のやさしい言語のひとつだと書いてきたのに、「むかしから」が「むずかしいから」と印刷されてしまいました。これは大変なミスですので訂正してください。今回は77という特別号です。

さて「むかしから」とは、いったい「いつ」からなのでしょう？

ニホン人は文字を発明しませんでした。隋・唐→朝鮮半島をとって渡来人が漢字をニホンにもちこみました。奈良時代のおわりごろに作られた『万葉集』20巻4516首の和歌は、すべて漢字で書かれています。編者は大伴家持(オオモノヤカモチ)という将軍と言われています。ひとつ例をあげます。

3925番の歌は、つぎのように24の漢字で書かれています。：新年乃婆自米爾豊乃登之思流須登奈良思雪能敷礼流波(豊礼は旧漢字「豊禮」)。5・7・5・7・7のリズムで31拍でできています。

岩波文庫『新訓万葉集』下巻を見ると、つぎのように読みます。

あらたしき 年のはじめに とよの年 しるすとならし
雪のふれるは

現代語訳：あたらしい 年のはじめに 豊年のしるしのよう
だ 雪がふるのは

Vはフランス語Voyelle(ヴワイエル)の頭文字で母音のこと、
CはConsonne(コンソン)の頭文字で子音のこと(53)をみよ)

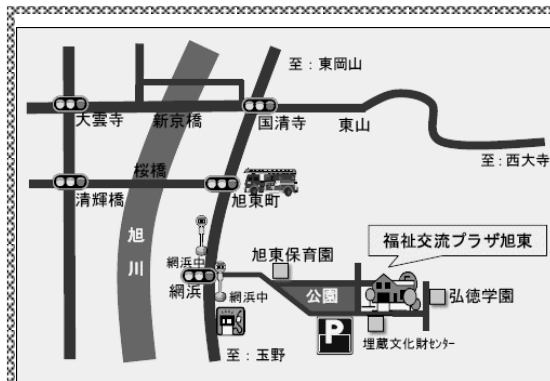
すなわち、新=VCVCVCVCV、年乃婆自米=CVCVCV

CVCVCV。「万葉がな」でないのは新年豊雪の4字だけです。

つづく

岡山支部 太極拳 岡田 民

おもしろさ、奥深さと効果を
実感してほしい。



日中友好協会 岡山支部

《2014年度総会開催のご案内》

2014年度総会を、下記のとおり開催します。
ぜひご参加くださいますよう、ご案内いたします。

と き：6月21日(土)

9時30分～12時

ところ：福祉交流プラザ「旭東」

次回の新聞送付作業は
5月26日(月)午後1時半
民主会館2階で行います。
前回お手伝いくださった方です。
稲葉 小林 和
竹内 竹内 袈
坪井 井
藤井 三垣
光本